

## 答 辞

3 年 片 渕 壮 陽

長かった冬もようやく終わりに近づき、温かき日の光が柔らかく差し込むこのよき日に、私たち第十六回卒業生のために、このように盛大な式を挙げていただき、誠にありがとうございます。ご来賓の皆様、保護者の皆様、そして先生方に見守られながら、本日、このように卒業式を迎えられたことを心から嬉しく思います。

三年前の春、私たちは新入生として、期待と不安で胸がいっぱいになりながら、武高坂の満開の桜並木を抜け、今日と同じように温かい拍手に迎えられ、この場にたったことを、昨日のこのように思い出します。

あの日より私たちは、「質実剛健」「報恩感謝」という校是のもと、勉強、部活動、学校行事や校外活動など様々なことを通して、沢山のことを学び、また友人との絆を深めました。そして今日、卒業の日を迎えることができたことに、私たちの心は多くの方々への感謝のおもいでいっぱいです。

まず、三年生へ。この三年間私たちはともに様々なかけがえのない経験をしました。新しい友ができた開校記念遠足、クラスが一つとなり熱狂したクラスマッチ、一面雪景色の中で、スキーや観光を楽しみ、友人と遅くまで語り合った修学旅行。初めは雪山を転がるように滑っていたのが最後には帰りたくなるほどうまく滑れるようになり、あっという間に時間が過ぎていきました。そして、武陵祭。それぞれが自らの強みを生かし活動に取り組み、最後に一つとなったときそこには忘れられない感動がありました。そして何より思い起こされるのは、日々の生活で、時には切磋琢磨し合えるライバルとして、時には心から信頼できる友人として互いを高め合ったことです。それぞれ異なりますが、これらの記憶は私たちの心にこれからもずっと残り続けることと思います。3年間、本当にありがとう。

次に、毎朝校門で温かく迎えてくださった下村校長先生、困難に直面したとき、いつも学習面だけでなく精神的にも支えてくださった学年主任の石橋先生を始めとする3年間お世話になった先生方、本当にありがとうございました。先生方はご自身の担当教科だけでなく、その他のことについても広範な知識をお持ちになっており、読書などを通して自らの見分を広げることの大切さを教えてくださいました。特に石橋先生の学年集会の最後での本の紹介は私たちの日々の楽しみでした。私たちに

とって先生方は、人生の道しるべのような存在でした。これから先生方のような立派な大人へとなることで、少しでも恩返しができるように励みます。改めて3年間本当にありがとうございました。

そして、在校生の皆さん。今日は多くの人たちはこの場をともにすることはできませんでしたが、いつも笑顔であいさつをしてくれたこと、武陵祭などの学校行事や部活動などで学年の垣根を越えて協力しあったことなどを忘れることは決してありません。今まで本当にありがとう。皆さんには、いつも貴方方のことを一生懸命考えてくださる先生方、高い志を持ち日々努力する仲間がいます。この武雄高校という最高の学び舎で、友人と互いを高め合い、自らの目標に向かって邁進してください。皆さんのさらなる活躍をこの学校の卒業生として期待しています。

そして、一番身近で私たちを支えてくれた家族へ。普段の学校生活をきちんと送ることができたのは家族の陰であったことを、卒業に当たって改めてしみじみと実感しています。毎日のお弁当の用意から送り迎えまで、本当にありがとうございました。ここにいる私たち皆がすぐに言葉にすることはできないかもしれませんが、皆がそれぞれの形で家族へ感謝の気持ちを持っています。これから少しでも恩返しができるよう、自らがすべきことを考え、精一杯取り組んでいきます。これまで本当にありがとうございました。そしてこれからもどうぞよろしくお願いします。

さて、私は「能力を持つものはそれを正しく行使する責務がある」という言葉を信条としています。我が国は今、戦後に築かれた世界秩序を前提として成立していた社会構造の崩壊を目の当たりにし、多くの人々が不安の中にあります。私たちはこの武雄高校で三年間を通して社会にある問題を解決する力を学び、そして社会に貢献する志を培いました。これからそれぞれの場所でさらなる能力の向上を目指すのはもちろんこと、我が国の恒久的な平和の実現と人々の生活の安定のために、その力を正しく発揮し、この社会の為に生きていくことを誓います。そして、将来この学び舎で学ぶ後輩たちのため、陰ながら武雄高校を支えていきたいと思えます。

最後になりましたが、私たちはこれからそれぞれの場所で生きていくこととなりますが、胸に秘めた武雄魂が消えることは決してありません。本校の卒業生であることを誇りに思い、日々を歩んでいきたいと思えます。そして、これからの武雄高校のさらなる発展をお祈り申し上げて、答辞の言葉といたします。

令和7年2月28日

卒業生代表 片渕 壮陽